

KENPO
DAYORI

健保だより

西武健保ホームページからご覧になれます。http://www.seibu-kenpo.or.jp

No.1015

2015.9.28

西武健康保険組合



自宅で手軽に検査が受けられて、自己負担もなし！

「郵便検診」のご案内

西武健保では、今年度も『大腸がん』と『子宮けいがん』の郵便検診を実施いたします。
検診料は西武健保が全額負担いたしますので、自己負担はありません。 検診キットを使う
 ことにより、時間や場所を選ばず、手軽に検査が受けられますので、ぜひご利用ください。



「郵便検診」の主な流れ



- ① “郵便検診申込書”に必要事項を記入し、各会社担当者へ提出してください。
 (任意継続被保険者の方は、直接西武健保までご郵送ください。)
 申し込み締め切り：10月23日(金) 16:00 西武健保必着
- ② 11月中に検診キットがご自宅に届きます。
- ③ 検体を採取し、検体と問診票を返信用封筒に入れて、「大腸がん検診」は11月20日(金)、
 「子宮けいがん検診」は11月27日(金)までにポストに投函してください。

※検診によって投函締切日が異なりますのでご注意ください。

大腸
がん
検診

2日間にわたり、検診キットのスティックで便を採取します

対象者 2016年3月31日までに40歳以上になる被保険者・被扶養者・
任意継続被保険者・任意継続被扶養者

検診機関 医療法人社団 卓秀会 池袋藤久ビルクリニック

子宮
けいがん
検診

検診キットの器具で膣内子宮けい部をこすり、細胞を採取します

対象者 女性の被保険者・被扶養者・任意継続被保険者・任意継続被扶養者

検診機関 公益財団法人結核予防会 複十字病院 健康管理センター

私たちのおよそ2人に1人が、がんになり、3人に1人が、がんで命を落としています。
この割合は世界のトップレベルで、日本はいまや世界有数の「がん大国」といえます。
しかし、日本のがん検診受診率は先進国の中で最低レベルです。がん検診を受けましょう！

大腸がん

2020年には男女の罹患トップに！

大腸は筒状の臓器で、大腸の壁はいくつかの層が重なってできています。その最も内側をおおう粘膜から発生する病気が『大腸がん』です。大腸には「結腸」と「直腸」の部分があるため、「大腸がん」はがんが発生する場所によって、『結腸がん』、『直腸がん』という呼び方がされる場合もあります。大腸がんは、かつて日本では少ないがんとされてきました。しかし、戦後から1990年代までに急速に増え、2020年までの将来予測では、男女合わせた日本人のがん患者数の第1位になるといわれています。現在、女性がかかるがんで最も多いのは乳がんですが、2003年以降、女性のがん死亡原因の第1位は大腸がんです。

早期の大腸がんでは、9割以上が完治しますが、がんの進行とともに治癒率は下がります。大腸がんは進行するまで、ほとんど自覚症状がありません。そのため、**早期の大腸がんを見つけるためには、毎年定期的に検診を受ける必要があります。**

子宮けいがん

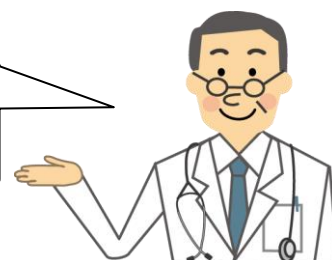
20～30代の女性の間で急増中！

『子宮けいがん』は、子宮の入り口である子宮けい部の表面の細胞にできる病気です。厚生労働省の資料によると、日本では年間約8,500人が発症し、約2,500人が死亡しているがんであり、女性特有のがんの第2位の発症率となっています。また、たとえ死亡に至らないまでも、ごく初期のがんを除いては子宮全摘が施術され、その場合は妊娠や出産ができなくなることはもちろん、排尿障害などの後遺症やQOL（Quality Of Life：生活の質）低下に悩まされることもあります。

子宮けいがんは、初期の段階ではほとんど無症状で、子宮けいがん検診によって発見されることが多いがんです。もっとも初期の段階のがんでは子宮けい部の異常な組織を取り除く手術によって8割以上が治り、子宮も温存できますが、がんの進行とともに治癒率は下がりますし、子宮全摘が施行されます。子宮けいがん検診は、米国では80%以上の女性が受けているにもかかわらず、日本では20%程度です。**近年では20～30代の罹患率の増加が問題になっているため、20歳を過ぎたら子宮けいがん検診を受けることを強くおすすめいたします。**

参考：厚生労働省ホームページ 「がん検診推進事業について」
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/gan10/pdf/gan_women10_04h.pdf
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/gan10/pdf/gan_women10_03h.pdf

昨年度の郵便検診では、『大腸がん検診』で“陽性”と診断された方の中から、早期のガンにかかっている方が7人、進行性のガンにかかっている方が1人見つかりました。一番大切なのは「検診を受診し、結果を活かすこと」です。



保存年月日：2016年3月31日